

御槇小学校だより

校訓 **みがく まなぶ きたえる**
 教育目標 **心豊かで たくましく生きる児童の育成**



7月号

令和6年7月19日

今日で1学期が終了です。保護者の皆様には、今学期も本校の教育活動に御理解、御協力、御支援いただき、ありがとうございました。明日からはいよいよ夏休みが始まります。今日は、各担任から渡された通信簿を見ながら、家でも学校生活について振り返ってみてください。「なりたい自分に向かって一歩でも半歩でも進むことができたかな」、「『わかったこと、できたこと、がんばったこと、よかったこと』はあったかな」、「次はこんなことを目標にしてみようかな」など振り返ってください。そして、夏休みには、「○○に挑戦してみよう」とか「これを毎日続けよう」や「○○博士になってみよう」と一つでもいいので、親子で夏休みの目標を立ててください。長い休みでないといけないことや、自分の好きなこと、興味のあることに取り組めるよい機会です。ぜひ、親子で話し合っ、有意義な夏休みになるよう計画を立てて、チャレンジさせてください。

夏季休業中の予定

月	日	曜日	行事等
7	22	月	宇和島市小学校水泳記録会 【吉田町ふれあい運動公園室内プール】
	26	金	宇和島市小学校水泳記録会予備日
	29	月	第2回学校運営協議会 19:00～
8	7	水	全校登校日 (8:00～10:00)
	11	日	🇯🇵 山の日
	12	月	振替休日
	13(火)～16(金)学校閉校日		

宇和島市小学校水泳記録会

7月22日(月)9:20～

【吉田町ふれあい運動公園室内プール】

約2カ月間、子供たちは、毎日一生懸命練習に取り組みました。「練習は嘘をつかない」と言われます。本番で最高のパフォーマンスを披露してくれると信じています。

《出場種目・選手》

男子 25m自由形

森本 勘太さん 永樂 大芽さん

渡邊 司冴さん

女子 25m自由形

谷川百合佳さん

混合 200mリレー

森本 勘太さん 永樂 大芽さん

渡邊 司冴さん 谷川百合佳さん



6/19

えひめ川の防災プログラム！

清満公民館で行われた、防災学習会（えひめ川の防災プログラム）に3～6年生が参加しました。清満小学校の児童と一緒に、模型（ダム）実験や水中歩行模擬実験、川の定点カメラ見学を行ったり、防災マップの説明を受けたりしました。子供たちの防災の意識が高まりました。



6/19

クラブ活動（つり）！

3～6年生が、クラブ活動の時間に、学校前の川で釣りに挑戦しました。また、御槇の自然の豊かさに気付きました。「釣りって面白い！」「魚が針にかかった瞬間のビクビクがうれしい！」とみんなで釣りを楽しみました。釣った魚は、5・6年教室の前の廊下で飼育しています。



6/21

参観日・心肺蘇生法講習会！

1・2年生は国語の参観授業でした。1年生「つぼみクイズ」、2年生「あったらいいなこんなもの」の発表でした。3・4年生は、算数の自由研究で「めいろ」を作っていました。5・6年生は、修学旅行・大洲青少年交流の家活動の様子を映像とともに発表しました。参観授業の後、宇和島消防署の方をお招きにし、心肺蘇生法講習会を開催しました。今年度は、3～6年生と保護者で研修を深めました。今日の講習会で教えていただいたことを「いざ」というときに実践できるようにしておきたいものです。



6/27

清満小学校との交流学习会！

清満小学校で交流学习を行いました。ウェルカム集会では御槇小児童の挨拶（6年生男子、立派でした。）やゲームで交流を深めました。その後、各学年に分かれての授業でした。清満小学校のみなさんが温かく迎えてくれたおかげで、楽しく充実した時間を過ごすことができました。良い刺激にもなったようです。いつもと違う環境の中でも立派に活動する御槇っ子たちに、それぞれの成長を感じました。



6/23

P T A 奉仕作業！

皆様の御協力のおかげで、明るく美しい環境になりました。気持ちの良い環境の中で、子供たちが過ごせることに、感謝いたします。ありがとうございました。



6/30

第46回津島町小学生相撲大会が岩松小学校で開催されました。御槇小学校からは、3人が参加しました。1年生男子が優勝、3年生女子が準優勝、6年生男子が3位に入賞しました。3人のカー杯頑張る姿に感動しました。6年生男子の選手宣誓も立派でした。



日野のつぶやき！

言葉には力があります。昔から「言霊」という言葉がありますが、言葉には魂が宿っているとされています。つまり、一度、口にした言葉は必ず、何らかの形で相手にも、自分にも影響を与えます。相手に対して言ってしまった否定的な言葉は、人の心を深く傷つけ、その人の人生を変えてしまうことさえあります。また、自分では何気なく言ってしまったとしても、自ら発した言葉は他人だけではなく、それは必ず自分に返ってきて、自分をも傷つけます。脳は、自分で発した言葉は、たとえ他人に対して言ったとしても、自分の脳裏に深く刻まれ、自分への言葉として受け止めてしまい、何らかの形で自分にも働き出すとされています。また反対に「ありがとう！」「頑張っているね！」「すごいね！」などの肯定的な言葉には、人の人生も自分の人生も明るくする力を持っているとされています。つまり、ポジティブな言葉を使えばポジティブなことが起こり、ネガティブな言葉を使えばネガティブなことが起こるというイメージです。子供たちには「もし自分が言われたらどんな気持ちができるだろうか？」と自分のこととして受け止め、是非、相手の気持ちになって、考え、行動できる「思いやりの心」を育てていきたいと痛感しています。子供は大人の背中を見て育ちます。子供たちにも「言葉の大切さ」を伝え続けると同時に自分自身が、その背中を見せていかなければと思っています。御槇小学校に「あったか言葉」が広がることを願っています。